

即時荷重成功のための術式 Immediate loading procedure for dental implants

**Keizo Miyoshi**

三好 敬三

二子玉川三好デンタルクリニック

一般的に、インプラント治療は適切な位置にインプラントを埋入して、骨質や初期固定の状況に応じて3~6ヶ月の治癒期間を経て補綴治療を行う。しかしながら、抜歯後多数歯欠損や無歯顎の状態になる症例においては生活の不自由さは計り知れないものがある。従って、患者のQOLの向上のためにインプラント埋入後即時荷重を求められることも多い。ただし即時荷重治療の場合は、失敗すると多大な迷惑を患者に与えてしまうのも事実である。そこで、インプラント治療における即時荷重成功の要件としては、インプラントが正確に骨に埋入され、通常の咬合力に耐えられる初期固定がインプラントの治癒期間(3~6ヶ月)得られるように術式を工夫する必要がある。これらを可能にするためのいくつかの条件をあげてみる。

- 1、患者自身の健康状態(ボーンヒーリングポテンシャル)が良好
- 2、患者自身の骨質、骨量が良好
- 3、インプラント埋入術式(初期固定が良好)
- 4、インプラント補綴の咬合様式(インプラントに過度な負荷を与えない)
- 5、インプラント材料(良好な初期固定が可能なインプラント及び適切な補綴材料)

これらの条件を全て満たす症例のみ、安全確実なインプラント即時加重治療が行えるといえる。

【略歴】

昭和大学歯学部 卒業
二子玉川三好デンタルクリニック 院長
デンタルコンセプト 21 顧問
MIC アカデミー™ 主賓
OJ 相談役
日本口腔インプラント学会 専門医